

M I C R O T U B E S 5 0 0

OWNER'S MANUAL

解説

Microtubes 500™は、フルアナログ・ソリッドステート回路のプリアンプとクラス D パワーアンプモジュールを搭載した 500W のベースアンプです。

フロントパネル上段のクリーンセクションは、ベースの基本的なトーンを設定します。Gain と Master、そしてアクティブタイプの 4 バンド EQ を備えています。Low と Treble コントロールに加えて Low Mids と Hi Mids コントロールを搭載し、Low/Hi Mids の各ノブでは 2way フリーケンシースイッチによってそれぞれの中心周波数を切り替えることが可能です。

フロントパネル下段は Microtubes® エンジンによるエクストラ・チャンネルコントロールで、僅かにチューブライクなハーモニクス、ナチュラルなコンプレッションを加えてクリーントーンを一段上のレベルへと引き上げます。

Microtubes エンジンはフロントパネル、もしくはデジタルコントロールされた Intelligent Footswitch をリアパネルに接続することで ON/OFF することが可能です。

特徴

フロントパネル

Input

ベースからの信号を入力する 1/4" モノフォンインプットです。

Passive/Active

パッシブ / アクティブのモードを選択します。高出力のアクティブ回路のベースを接続時、早い段階で歪んでしまう場合にはアクティブ側に切り替えて下さい (さらにディストーションを追加したい場合にはアクティブベース接続時にパッシブ・モードをお試しください)。

Microtubes

Microtubes Engine™の ON/OFF を切り替えます。このスイッチはナチュラルなコンプレッションとオーガニックな倍音成分によるエンハンスを追加し、マイルドなオーバードライブから暴れるようなハイゲインサウンドまでを作り出すサチュレーションのコントロールが可能です。

Microtubes Engine はクリーンセクションの前端に設置されています (以下に記載のある Tone ノブの機能を追加し、その上でさらに4バンドのアクティブEQを使用することができます)。

Drive

Microtubes Engine が作るディストーションの量をコントロールします。このディストーションはソフトでウォームなオーバードライブから重くモダンなディストーションまで変化させることが可能です。

Tone

可変式のローパスフィルターにより、Microtubes Engine の高域の倍音成分をコントロールします。アタックと明瞭さを加えるにはノブを上げ、ダークでより滑らかなサウンドにする場合はノブを下げ

ます。キャビネットのツイーターやクリーンセクションのEQセッティングがブライトな場合に特に効果的です。

Level

Microtubes Engine の出力レベルをコントロールします。

Blend

クリーンシグナルと Microtubes Engine のディストーションシグナルのミックスバランスをコントロールします。

B3K/VMT

2つのオーバードライブ・ボイスングを選択します。B3Kモードはアグレッシブでパーカッシブなサウンドになり、VMTモードはミッドが増え、よりウォームでニュートラルなキャラクターです。

CLEAN SECTION

Gain

アクティブ4バンドEQのシグナルボリュームをコントロールします。低く設定すれば最もクリーンなトーン、高く設定すれば唸るようなアグレッシブなサウンドにすることも可能です。

Bass

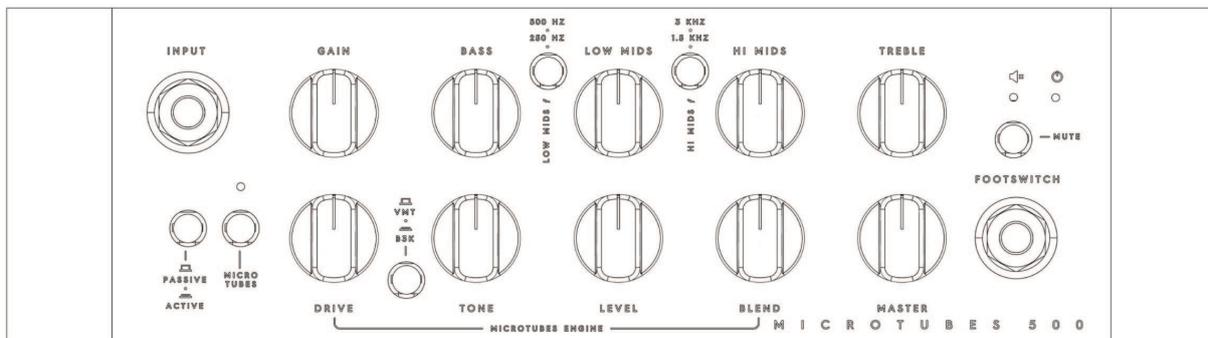
80Hzを中心周波数として±12dBの範囲でシグナルの低域成分を調整します。

Low Mids

Low Mids スイッチで選択した周波数を中心周波数として±12dBの範囲でコントロールします。

Low Mids スイッチ

Low Mids でコントロールする中心周波数を 250Hz、500Hz の 2タイプで切り替えます。



Hi Mids

Hi Mid スイッチで選択した周波数を中心周波数とした帯域を $\pm 12\text{dB}$ の範囲でコントロールします。

Hi Mids スイッチ

Hi Mids でコントロールする中心周波数を 1.5kHz、3kHz の 2 タイプで切り替えます。

Treble

5kHz を中心周波数として $\pm 12\text{dB}$ の範囲でシグナルの高域成分をコントロールします。

Master

アンプ全体のボリュームをコントロールします。このコントロールは DI アウトやエフェクトループ・レベルには影響しません。

Footswitch

フットスイッチを使用して Microtubes エンジン ON/OFF をコントロールできます。また、フットスイッチを長押しすることで Mute 機能の ON/OFF も可能となります。

VMT/B3K ボタンのコントロールはフットスイッチの接続にかかわらず本体で切り替えることができます。

* フットスイッチとアンプの接続にはスタンダードな 1/4" モノフォンケーブルを使用します。

* フロントパネルからアンプのコントロールを行う場合は Footswitch ジャックからケーブルを抜いてフットスイッチを取り外してください。

* Microtubes 500™ は、アンプ付属の Intelligent Footswitch もしくは別売の Super Intelligent Footswitch でのみ外部コントロールが可能で、一般的なフットスイッチではコントロールできません。

Mute

Microtubes 500 の出力をミュートします。

特徴

バックパネル

Speaker Output

ベース用キャビネットに接続します。1/4" モノフォン、もしくはスピコンのスピーカーケーブルのどちらにも対応するスピコン・コンボジャックです。ミニマムロードは4Ωです。より高いインピーダンスロードを接続した場合は、最大出力レベルは減少します。

Microtubes 500 はスピーカーキャビネットを接続しない状態でもご使用いただけます。

注意：一般的なシールドケーブルを用いてキャビネットと接続した場合、アンプが破損する恐れがあります。必ずスピーカーケーブルをご使用ください。4Ωを下回るロードを使用しないでください。

Headphone Out

1/4" のプラグに対応したヘッドフォンアウトです。スピーカーキャビネットを接続しないで使用することが可能です。ヘッドフォンを接続しても Speaker Out はキャンセルされません。

Send

ラインレベルのエフェクトループ・アウトプットです。このジャックとエフェクトループに接続するペダルのインプットを接続します。この端子から別のパワーアンプや機材に接続することも可能です。この端子の出力レベルは Master ノブの影響を受けません。Gain ノブによる信号レベルのコントロールが可能です。

Return

ラインレベルのエフェクトループ・インプットです。エフェクトループに接続するペダルのアウトプットと接続します。

Post-Pre

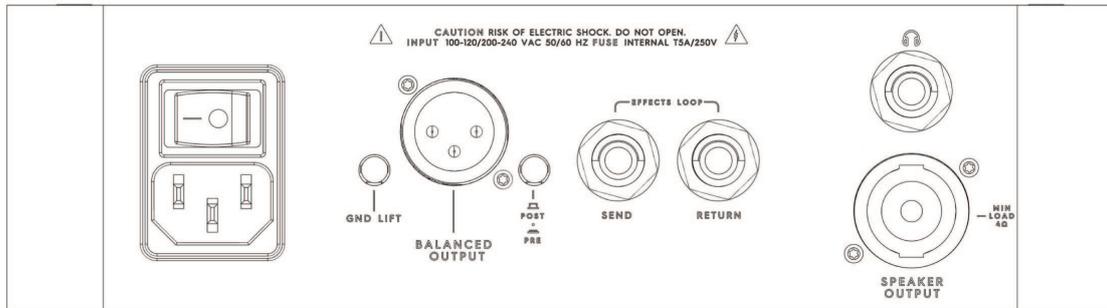
D.I アウトからの出力信号を選択します。PRE を選択した場合、プリアンプセクションを経由する前の入力信号がそのまま出力されます。POST を選択した場合にはプリアンプセクションを経由した信号が出力されます。

Ground Lift

Balanced アウトのグラウンドをリフトします。この端子から他機器へ接続してグラウンドループによるノイズが発生した場合はこのスイッチを押してノイズの変化をチェックしてください。

Balanced Output

マイクプリアンプやコンソール、レコーダー、コンプレッサー、オーディオインターフェース等のスタンダードな XLR ジャックを搭載しバランス入力に対応した楽器と接続するアウトプットです。この端子からの出力レベルは Master Volume の影響を受けません。



FAN

ファンは風をアンプの内部に送り込み、アンプを冷やすヒートシンク・システムです。ファン周辺の空気口を塞がないでください。

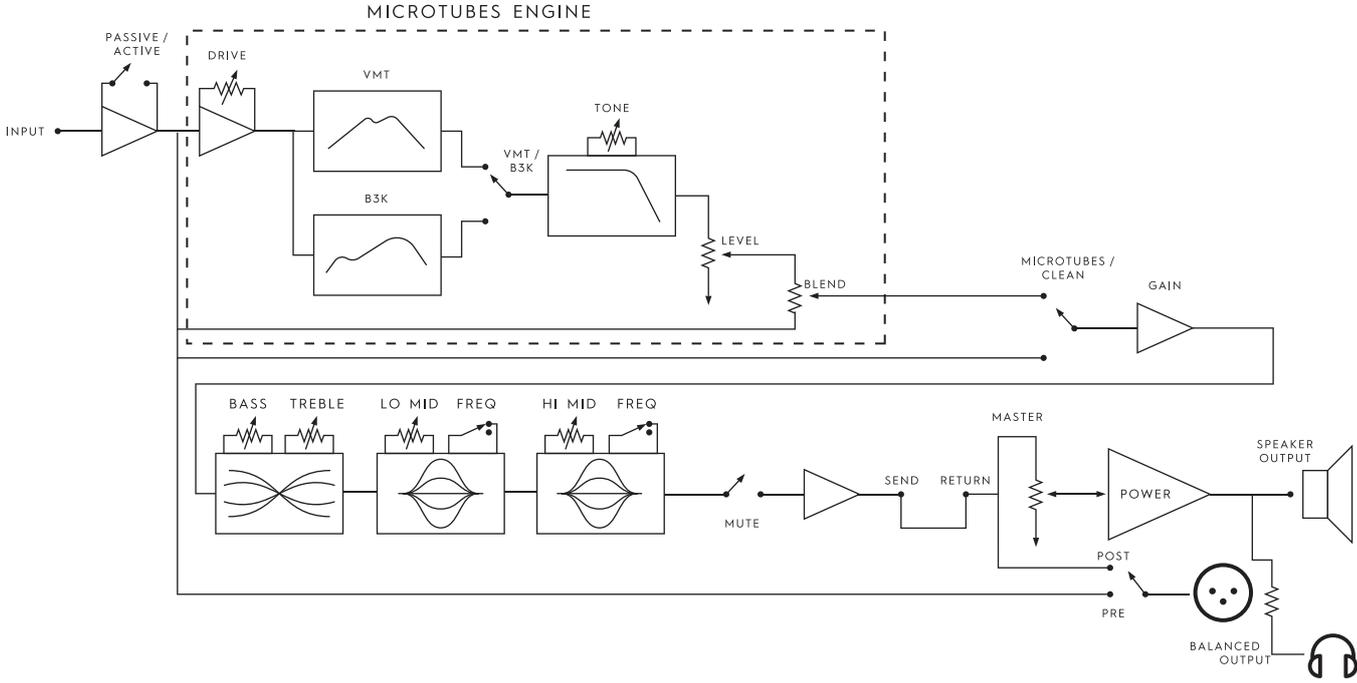
AC Socket

電源ケーブルを接続します。

AC Power ON/OFF

電源の ON/OFF を切り替えます。

BLOCK DIAGRAM



注意

- アンプを分解しないでください。アンプ内部のパーツでユーザーが設定するコントロールはありません。

- アンプの AC インレットに電源ケーブルを接続する前に、右側のサイドパネルにあるボルテージ・セレクタースイッチ (115/230V) が適切な設定になっていることを確認して下さい。日本国内でご使用になる場合は 115V に設定して下さい。

- 多湿な環境や周囲に液体のある状況下でのご使用はお止め下さい。

- Microtubes 500 は 115dB 以上のパワーで出力することが可能です。このレベルでの出力は使用環境によっては聴覚へ深刻なダメージを与える可能性があります。適切な聴覚の保護を行ってください。

- Microtubes 500 はピークで 750W 以上の出力があります。ご使用になるスピーカーキャビネットはアンプの出力を許容できる製品をご使用ください。

- ベントホールにはカバーをしないでください。ファンとベントホールはアンプのクーリングを行うパーツです。カバーをしてしまった場合、アンプのオーバーヒートを引き起こし、パワーアンプにダメージを与える場合があります。

- スピーカーキャビネットと接続する場合はシールドケーブルではなく、スピーカーケーブルをご使用ください。一般的なシールドケーブルはアンプからスピーカーへのパワーシグナルを伝送できるようデザインされていません。

スペック

SPECIFICATIONS

Input Impedance: 1M Ω

Minimum Load Impedance: 4 Ω

Maximum Power Output: 500 Watts (750W Peak)

Power Amp Input Impedance: 10 k Ω

Power Amp Nominal Input Level: +4dBu

Pre-Amp Output Impedance: 1 k Ω

Pre-Amp Nominal Output Level: +4dBu

Standby Power Consumption : 15W

Maximum Power Consumption : 950W

Forced-air cooled

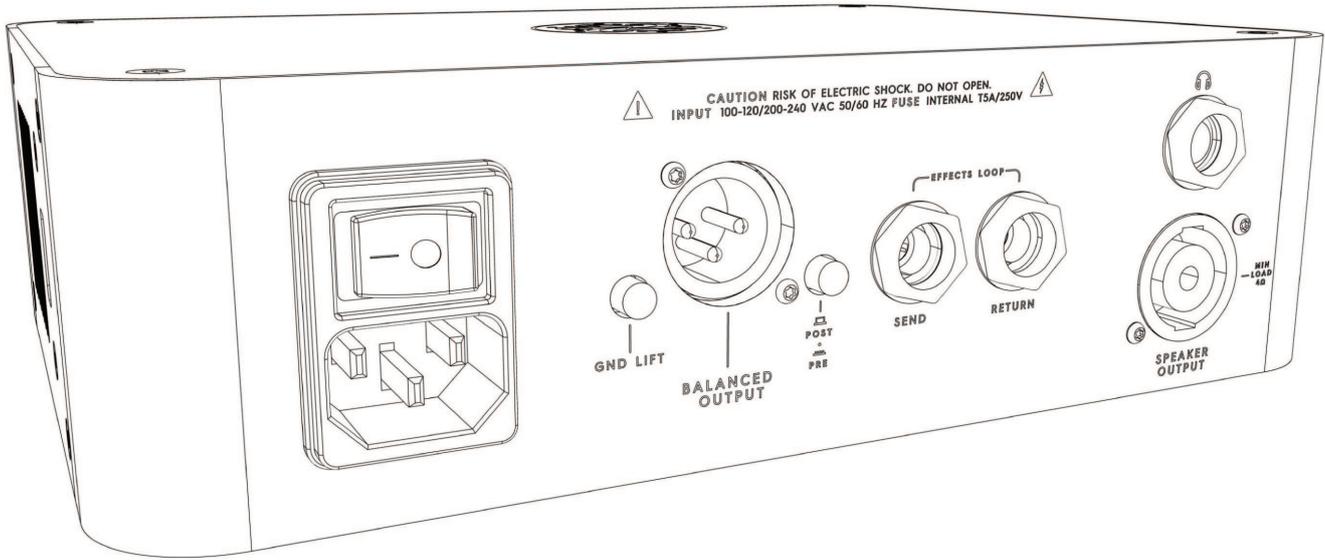
AC Input Power: 100-250 VAC (Via selector switch on left side panel).

Cycles: 50/60 Hz

Dimensions: 19.2cm x 24.7cm x 7.1cm

Weight: 1.7Kg

Built and Engineered in Helsinki, Finland.



⚠ CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK. DO NOT OPEN. ⚠
INPUT 100-120/200-240 VAC 50/60 HZ FUSE INTERNAL T5A/250V

GND LIFT

BALANCED OUTPUT

POST AND PRE

EFFECTS LOOP

SEND

RETURN

SPEAKER OUTPUT

MAX LOAD 4Ω



Darkglass Electronics

Your vision, our gear.

DARKGLASS ELECTRONICS®
HERNESAARENRANTA 3L 00150
HELSINKI, FINLAND
WWW.DARKGLASS.COM

FOLLOW US



——— 正規輸入代理店 ———

株式会社 キョーリツコーポレーション

〒469-0002
愛知県名古屋市長区焼山 1 丁目 813 番地
E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp